

緊急人道支援学会企画セッション1B

精神保健・心理社会的支援

(Mental Health Psychosocial Support : MHPSS)

要旨

精神保健・心理社会的支援（Mental Health Psychosocial Support : MHPSS）は、人道支援分野における「心のケア」の中心となるシステムである。

しかし「心のケア」という言葉そのものが持っている曖昧さもあって、この活動についてもまだまだ「何をするといいのかよくわからない」という状況が続いている。

緊急人道支援学会では、今後この分野において多くの知見を集め、活発に議論を交わし、より有効で実践力のある活動を支えていきたいと考えている。そして2007年以降全くアップデートできていないIASCのガイドラインを視野に、より「今」に則したガイドラインの策定なども行っていきたいと考える。当日は基本概念の確認と、現時点で実践している日本の組織体が行っている活動の報告を軸に議論を深めたいと思っている。

基調講演

桑山紀彦氏

表題：心理社会的支援の歴史、概念、基礎知識

内容：心理社会的支援の基礎知識と共に、その展開や今後の方向性などについて知見を共有する。

略歴：山形大学医学部大学院卒業。精神科医、心療内科医、医学博士

オスロ大学附属「心理社会的難民センター」留学。

旧ユーゴスラビア紛争を皮切りに世界の紛争地、災害地域で心理社会的支援を展開。エリクソンの定義とハ

ーマンの「心的外傷と回復」をベースにワークショップを行い、心理社会的支援を用いてトラウマ・ケアを実践。活動国は30カ国を超える。2011年東日本大震災では自ら被災者となったが、宮城県名取市を拠点に心理社会的支援を実施。現在も継続中。日本心理社会的支援センター所長、海老名こころのクリニック院長。認定NPO法人「地球のステージ」代表理事



話題提供

① 箕口雅博氏

表題：レバノンにおけるパレスチナ難民対象の心理社会的支援の実践

内容：レバノンにおけるパレスチナ難民キャンプにおいて子ども・家族の支援に携わる支援スタッフ（ソーシャルワーカー・幼児教育や補習クラスの児童指導員）を対象に、「トラウマを抱える子どもへの心理ケア」「子どもの心理・発達・学習上の問題行動の現状と対応の仕方」「教科別学習指導のポイント」「特別な支援ニーズをもつ子どもへの心理教育プログラム」

「支援スタッフ自身のストレスと対処の仕方の習得」を主な目的とした心理サポート研修プログラムを集団で実施した。その知見を発表する。

略歴：東京都精神医学総合研究所・社会精神医学研究部門主任研究員を経て、1999年～2016年：立教大学コミュニティ福祉学部、現代心理学部教員として、主にコミュニティ・アプローチのできる心理専門職の育成に携わる。臨床・コミュニティ心理学、多文化間心理学、アドラー心理学専攻。現在、立教大学名誉教授、認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーン監事、社会福祉法人白梅会（精神障害者授産施設）理事長など。



② 大井綾子氏

表題：ヨルダンにおける難民を含む子どもに対する精神保健・心理社会的支援

内容：難民を多く受け入れているヨルダンでは、不安定な社会・家庭で育った子どもたちの精神保健・心理社会的支援のニーズが高まっている。2021年から実施した子どもに対するMHPSSに関する調査結果及び今後予定している協力について紹介する。

略歴：独立行政法人国際協力機構（JICA）ガバナンス・平和構築部平和構築室室長。民放の報道記者として勤務後、英 Institute of



Development Studies でガバナンスと開発修士号取得。UNDP 東ティモール事務所で国内避難民の帰還支援、在アフガニスタン日本大使館で地方復興支援に従事。JICA 入構後は、人間開発部、南スーダン事務所、アフリカ部、アフガニスタン事務所等で勤務し、2024 年 1 月から現職。

③ 石橋優子氏

表題：ガザ地区における心理社会的支援の実践

内容：2003 年から「地球のステージ」はガザ地区で心理社会的支援を継続している。その核となる心理社会的ワークショップは平面の 2 次元表現に始まり、3 次元、4 次元表現と、表現形式を高めていき「自分らしいトラウマの物語」と作っていく。そして最終的にはその経験を社会に還元する「社会との再結合」を果たして、トラウマ・ケアを終了する。その実践の様子を当日報告する。

略歴：山形大学人文学部心理学科卒業。2000 年より認定 NPO 法人「地球のステージ」の職員。心理社会的支援ワークショップのファシリテーターとな

る訓練を受け 2007 年より同プログラムのファシリテーター。特に音楽ワークショップと映画ワークショップを得意とし、ジャワ島中部大震災、四川大震災、東日本大震災、ガザ地区、ウガンダにおける南スーダン難民対象のワークショップに参加。

